



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月27日

上場取引所 東

上場会社名 荏原実業株式会社

コード番号 6328 URL <http://www.ejk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 久司

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 濱野 博光

TEL 03-5565-2885

四半期報告書提出予定日 平成24年5月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	10,560	2.0	1,475	18.4	1,492	18.7	893	22.7
23年12月期第1四半期	10,351	△2.4	1,246	△8.7	1,257	△8.7	727	△1.1

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 1,002百万円 (22.4%) 23年12月期第1四半期 819百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	153.85	—
23年12月期第1四半期	125.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	21,744	5,704	26.2
23年12月期	17,967	4,814	26.8

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 5,704百万円 23年12月期 4,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	△0.3	950	△4.7	1,000	△3.8	600	0.3	103.35
通期	26,800	0.2	1,100	5.4	1,160	3.4	650	5.3	111.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年12月期1Q	6,640,000 株	23年12月期	6,640,000 株
24年12月期1Q	829,426 株	23年12月期	834,426 株
24年12月期1Q	5,806,873 株	23年12月期1Q	5,786,686 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）におけるわが国経済は、日銀の金融緩和策等の影響から急速に円安が進み、輸出メーカー等の採算が改善するとの期待から日経平均株価が上昇しました。しかしながら、依然としてデフレの脱却に糸口が見出せないことや財政悪化に歯止めがかからない状況から、消費や設備投資の回復スピードは緩慢なものとなりました。

当社グループを取り巻く環境装置機械業界においては、公共分野では東日本大震災からの復旧・復興を目的とした第3次補正予算が決定し、徐々に発注案件の増加が見られました。また、民間分野においても省エネ化、耐震化といった案件の増加が見られました。

このような事業環境の下、当社グループは、営業利益率と自己資本比率の向上を目指し、以下の戦略に取り組んでおります。

- ① 新エネルギー分野等の成長分野への展開を進めるとともに、国内外企業とのアライアンスにより取扱製品の拡充に努める。
- ② 海外とのアライアンス製品を拡販することにより、円高メリットを享受し利益率を高める。
- ③ 電気料金の値上げに対応し、省エネ製品の拡販に努める。
- ④ 復興需要に対応した組織・人員体制の強化を図る。
- ⑤ 新市場を開拓するため外部機関とも連携し、研究開発スピードを上げる。

これらの活動の結果、当第1四半期連結累計期間の受注高は79億44百万円（前年同期比66.0%増）、売上高は105億60百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は14億75百万円（前年同期比18.4%増）、経常利益は14億92百万円（前年同期比18.7%増）、四半期純利益は8億93百万円（前年同期比22.7%増）となりました。

なお、当社グループは受注高及び売上高に占める官公庁の割合が高いことから、通常の営業形態として第1四半期連結会計期間に計上される売上高割合が高く、一方で販売費及び一般管理費はほぼ均等に発生するため、利益が第1四半期連結会計期間に偏るという季節の変動があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(環境関連)

環境関連製品の製造・販売を手掛ける当セグメントは、感染症対策製品を中心とする医療関連製品の販売が伸び悩んだものの、民間工場の排水処理や下水処理場などの曝気用として広く使用される省エネ型プロワや下水処理場向け脱臭剤の販売が堅調でした。

これらの結果、当セグメントの受注高は23億35百万円（前年同期比76.0%増）、売上高は32億21百万円（前年同期比0.2%増）、セグメント利益は6億53百万円（前年同期比61.2%増）となりました。

(水処理関連)

上・下水道向けの設計・施工を手掛ける当セグメントは、東日本大震災の影響により前期からずれ込んでいた発注案件の獲得が進んだことや、東北地域における震災からの復旧案件の獲得が堅調でした。

これらの結果、当セグメントの受注高は21億69百万円（前年同期比102.3%増）、売上高は40億67百万円（前年同期比8.0%減）、セグメント利益は6億88百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

(風水力冷熱機器等関連)

主にポンプ、冷凍機、省エネ型空調機器などを商社として販売する当セグメントは、地価の公示価格が下げ止まりの兆候を見せており、建築設備需要も若干ながら回復傾向を見せています。商業施設や遊戯施設を中心とした新設向けの需要は伸び悩みましたが、増改築、耐震化、長寿命化の分野では案件の増加が見られました。

これらの結果、当セグメントの受注高は34億39百万円（前年同期比44.1%増）となり、売上高は32億71百万円（前年同期比20.4%増）、セグメント利益は3億1百万円（前年同期比16.7%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
環境関連	2,335	176.0	2,639	93.1
水処理関連	2,169	202.3	3,444	110.6
風水力冷熱機器等関連	3,439	144.1	3,732	107.6
合計	7,944	166.0	9,817	104.2

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は217億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億76百万円の増加となりました。当社グループは受注高に占める官公庁比率が高く、年度末である3月は公共物件の売上高が集中することから、前連結会計年度末に比べ受取手形及び売掛金が28億58百万円増加し、たな卸資産が2億88百万円減少したこと、また、保有有価証券の時価上昇などにより投資有価証券が1億80百万円増加したことなどが主な変動要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は160億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億86百万円の増加となりました。3月に公共物件の売上高が集中することにより、支払手形及び買掛金が35億68百万円増加し、前受金が11億61百万円減少したこと、及び四半期純利益により未払法人税等が3億51百万円増加したことなどが主な変動要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は57億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億90百万円の増加となりました。四半期純利益8億93百万円によって利益剰余金が7億74百万円増加したこと、保有有価証券の時価上昇によってその他有価証券評価差額金が1億11百万円増加したことなどが主な変動要因であります。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の26.8%から26.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間までの業績は概ね計画通り推移しており、当期の業績予想につきましては、「平成23年12月期 決算短信」(平成24年2月9日発表)において発表した同予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,736	2,656
受取手形及び売掛金	7,666	10,525
有価証券	—	98
商品及び製品	887	743
仕掛品	200	134
未成工事支出金	522	448
原材料及び貯蔵品	193	189
繰延税金資産	101	186
その他	114	123
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	11,420	15,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,093	2,096
減価償却累計額	△1,125	△1,143
建物及び構築物（純額）	968	953
機械装置及び運搬具	142	157
減価償却累計額	△104	△109
機械装置及び運搬具（純額）	37	47
工具、器具及び備品	468	480
減価償却累計額	△399	△413
工具、器具及び備品（純額）	69	66
土地	1,049	1,049
その他	26	29
減価償却累計額	△8	△9
その他（純額）	18	20
有形固定資産合計	2,144	2,137
無形固定資産	46	45
投資その他の資産		
投資有価証券	1,215	1,395
保険積立金	1,301	1,317
投資不動産（純額）	889	883
繰延税金資産	245	176
その他	777	757
貸倒引当金	△72	△72
投資その他の資産合計	4,356	4,457
固定資産合計	6,546	6,640
資産合計	17,967	21,744

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,595	11,164
短期借入金	1,370	1,440
未払法人税等	324	676
未払消費税等	102	142
前受金	1,686	525
賞与引当金	—	169
その他	604	482
流動負債合計	11,684	14,600
固定負債		
長期借入金	278	269
退職給付引当金	490	478
役員退職慰労引当金	597	581
その他	103	110
固定負債合計	1,468	1,439
負債合計	13,153	16,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	957	957
資本剰余金	787	787
利益剰余金	4,295	5,070
自己株式	△1,291	△1,285
株主資本合計	4,748	5,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7	103
為替換算調整勘定	73	71
その他の包括利益累計額合計	65	174
純資産合計	4,814	5,704
負債純資産合計	17,967	21,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	10,351	10,560
売上原価	7,831	7,809
売上総利益	2,519	2,750
販売費及び一般管理費	1,273	1,274
営業利益	1,246	1,475
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	0
投資不動産賃貸料	23	27
為替差益	—	1
その他	2	3
営業外収益合計	27	34
営業外費用		
支払利息	5	4
不動産賃貸費用	10	12
為替差損	0	—
その他	0	1
営業外費用合計	16	17
経常利益	1,257	1,492
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
会員権評価損	12	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5	—
特別損失合計	18	—
税金等調整前四半期純利益	1,239	1,493
法人税、住民税及び事業税	587	675
法人税等調整額	△76	△75
法人税等合計	511	600
少数株主損益調整前四半期純利益	727	893
四半期純利益	727	893

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	727	893
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93	111
為替換算調整勘定	△1	△1
その他の包括利益合計	91	109
四半期包括利益	819	1,002
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	819	1,002
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	環境関連	水処理関連	風水力冷熱 機器等関連			
売上高						
外部顧客への売上高	3,213	4,420	2,717	10,351	—	10,351
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,213	4,420	2,717	10,351	—	10,351
セグメント利益	405	754	258	1,418	△171	1,246

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	環境関連	水処理関連	風水力冷熱 機器等関連			
売上高						
外部顧客への売上高	3,221	4,067	3,271	10,560	—	10,560
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,221	4,067	3,271	10,560	—	10,560
セグメント利益	653	688	301	1,644	△168	1,475

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。